

カエルいろいろ

文 三宅 隆、写真 三宅 飛鳥



アズマヒキガエル



ネバタゴガエル



ツチガエル



モリアオガエル



アマガエル

ミュージアムの自然観察路では、今迄5種のカエルが、確認されています。
早春の4月には、ネバタゴガエルが現れます。「ワン！」とイヌのような鳴き声が特徴と言われ、タゴガエルの新種として登録されました。私にはそうは聴こえないのですが、この時期、地面の中から、グググーと何頭もが鳴き合っています。しかし姿は、滅多に見ることができません。湿った水場の土の中やくぼみの奥にいるためです。しかしこの声を聞くと春が来たことを感じさせます。

モリアオガエルは、5月中旬、イモリのいる側溝の上に泡に包まれた卵を産みます。孵化したオタマジャクシは、水の中に落ちて育ち、手足が出た後、森に帰っていきます。卵も、卵塊の数は少なく昨年は2個、今年は3個だけです。毎年同じ個体が産んでいるのでしょうか？

ツチガエルは、少数ですが、イモリの側溝周辺で、見られます。

アズマヒキガエルは、運が良ければ、観察路をノッシノッシと歩いているのが見られるでしょう。その他、アマガエルも梅雨の時期には、よく鳴き声が聞かれます。